7・16代々木公園へ！

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年７月９日
№38

Tel　03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

7・6京大集会大成功！

京大同学会副委員長（暫定）平田郁夫君アピール！

僕のこれまでの大学生活で取り組んできたこと、それがこの同学会運動をやる中で、どうやってつながってきたのかということを話します。

　僕は結構いろんなことをやってきました。「ピースナビ」とか、社会の中でいろんな問題が起こっていることを討論し勉強していこうというサークルだったり、「学生ユニオン」では、バイトをしている学生も多いので、学生自身が労働組合の資格をとって大企業と団体交渉をしていく。未払い賃金を奪い返していくということもやってきました。あるいは原発の問題。低線量被曝の問題を、「100mSvでも安全なんだ」と言っている山下俊一という学者もいる。これは全部嘘なんですね。放射線の影響について無視されている論文もあって、そういうのを自分たちで訳して、世の中に出そうという取り組みもやっています。僕たちとその周辺だけでやっていても、中途半端に終わってしまう。京都大学のいろんな学生たちがやっている取り組みは、本当にすごいと思っています。松本総長は「学生には主体性がないんだ」と言いますが、それは全部嘘なんです。寮自治会を見てください。そして、学部自治会を見てください。あるいは、ホームレスの人たちを支援する運動や、「障害者」解放のために学生自身が責任をとっていく運動や、あるいはアイヌの人たち。本当にそれぞれの取り組みはすごいんです。でもその中で、大学の自治がどんどん切り縮められていって、新自由主義が推し進められていって、せちがらい大学にされてきた。こういう問題があります。

７月６日、京大キャンパスで当局の妨害はねのけ集会打ち抜く！

　大飯原発の再稼働に反対して、20万人の人たちが首相官邸前に集まって抗議した。そして現地でも夜を徹して声をあげた。でも、再稼働はされてしまったわけです。僕たちがやっている同学会運動は、こういった運動を本当に力に変えていく運動だと思っています。今までの運動で足りなかったのは、俗っぽく言えば「権力」だと思います。僕たち自信が決定する権利が足りなかった。そして権力を裏付ける「団結」。みんながやっていることを合わせれば本当にすごいものが生まれると思うんです。

　今日、吉田寮の団交を集会に重ねてきた。これこそまさに分断攻撃ですね。これと僕たちはまさに対決していかなければならないと思います。みなさん、どんどん発言していただいて、本当の全学自治会＝同学会をつくっていきたいと思います。

7・16 さようなら原発 10万人集会

再稼働阻止！ 被曝労働反対！ すべての原発いますぐなくそう！

◆７月16日(月・祝) 13時～

◆東京・代々木公園にて

※12時半からオープニング・コンサート、13時半からデモ出発
※会場へは、ＪＲ原宿駅より徒歩５分、同渋谷駅より徒歩10分

【呼びかけ】さようなら原発1000万人アクション
＜内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、
澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔＞

６万人が集まった昨年９月19日の反原発集会(明治公園)

７・７福島県庁前で野田を徹底弾劾！

大飯原発再稼働強行に対する怒り、さらには前夜の首相官邸前１５万結集の興奮冷めやらぬ中での７月７日野田首相の福島訪問。「本気で再稼働を止めたい」「直接野田に福島の怒りの声をぶつけたい」「首相官邸前の思いと一つになりたい」―事前に何の告知もなかったにもかかわらず30人もの人々が小雨降りしきる中、福島県庁前緊急行動に立ちあがった。

この行動には佐藤幸子さん、武藤類子さんを先頭とする福島の女たち、そして何人もの福島大生が県庁前に結集。心ひとつに再稼働反対の声を上げた。

野田の福島県庁到着に先駆け、午前中から行動は始まった。

午後３時過ぎ、「再稼働反対」のコールが響き渡る中、機動隊が阻止線を張りはじめ、事態は一挙に緊迫する。黒塗りの車に乗った野田が県庁内に入った瞬間、集まった人々の怒りは最高潮に達した。心ひとつに「再稼働反対」のコールが繰り返される。そして野田弾劾の怒りのアピールが始まった。「福島の高校生です。なぜ高校生がここまで深刻な問題を考えなければならないのか」「大阪から転勤で福島にきた。慣れるのに時間がかかったが、今は第二の故郷だと思っている。福島が汚染され、大飯がもし事故を起こし、大阪まで汚染されたらいったいどうすればいいのか」「原発事故は、野田首相、あなたたちが起こした人災だ。野田首相たちは原発の再稼働を絶対にあきらめないかもしれない。私たちは日本と世界から原発をなくすことをあきらめない」（福島合同労組委員長・市川潤子さん）「福島に住む子どもの母として一言言いたい。野田首相は、自分の子どもたちを福島に連れて来い。２０mSv基準を撤回しろ。この夏からは、子どもたちのプールも始まってしまう。子どもたちを疎開させてほしい」―繰り返されるコールと怒りの訴えは、県庁内の野田首相、佐藤県知事を完全に包囲した。

７月７日福島県庁前で坂野書記長先頭に緊急抗議行動！

この行動には多くの取材陣も駆けつけた。たとえ少数であっても、フクシマの怒りは、世界を揺るがす力をもっている。

７・１６集会のもつ位置はいよいよ高まってきている。首相官邸前をはじめとする街頭での高揚をどこまでも発展させよう。労働組合・学生自治会の力で空前の結集を実現しよう。

何よりもフクシマの怒りを守り抜き、連帯し、発展させよう。アジサイ革命は、いよいよこれから本格的に開花しようとしている！　（福島大・Ｓ）

７・６京大集会での沖縄学生発言！

僕は沖縄から来ました。僕は今までも基地問題のこととか色々考えていたんですが、今までの自分はただただ平和を願う一人というか、誰かスーパースターが現れて社会を変えてくれるんじゃないかと、受け身で人任せだったと思います。

だけど、この場にいるみなさんを見ていると、自分たちの権利とか、よりよい生活のために闘っていける人たちを見れて感動しています。

沖縄では、ビラを配っていたら警備員さんがビラをもらいにくるような場面もあるんです。でも、基地の長い歴史があって、「基地はなくならないよ」だとか「これを利用して生きていくしかないんだよ」という考えが学生の中にもあるんですね。京都大学に来て、みんながビラを配って、自治会委員長が当局と交渉していたり、そういうのを見て映画の中にいるような感じがしています。東京での行動や、１ヶ月後の８・６ヒロシマ行動で培った経験を沖縄で還元できるようにがんばりたいと思います。

７・８三里塚集会での斎藤委員長発言！

まずはじめに、反対同盟事務局次長の萩原進さんの「学生こそが先頭に立つべきだ」という提起と、動労千葉の７・16代々木への大結集で首都を制圧し、「紫陽花革命」を実現しようという提起に応えて決意をもって発言したいと思います。

今、野田政権に対する怒りはこの社会に満ちています。野田は「国民生活を守ることが私の判断の基軸」などと語りながら、福島県民を切り捨て、原発再稼働を決定し、消費税を増税する。沖縄に新たな基地を建設し、オスプレイを配備する。ＴＰＰによって農民や漁民の生活を奪う。彼の言う「国民」とは一体誰のことなのでしょうか？

７・１６は全国各地から結集し、あらゆる怒りが一つになる集会になろうとしています。時代は大きく動き出しています。毎週金曜日の「原発阻止」を掲げた首相官邸前行動は、先々週は20万、先週は15万という規模で闘われ、「原発を止めるために野田を倒そう！ 」という声と思いに満ち溢れています。

沖縄では、「オスプレイ配備反対」を掲げて、８月に10万人規模の県民大会が予定されています。ＴＰＰ反対の行動は日々続いています。三里塚闘争がその真価を発揮する時がやってきました。市東さんの農地を守る闘いは、これらすべての闘いと完全に一体です。こういう国のあり方と三里塚闘争は47年にわたって闘い続け、勝利してきました。市東さんの農地を絶対に死守し、国策と闘って私たちは勝つことができるということを社会に示そう！

闘いは日々拡大しています。何十万という人たちが今はじめてデモに出て、そして多くの人たちが「絶対反対」、「実力闘争」の意義に気づきはじめました。

「紫陽花革命」がますます進み、その先にこそ、人民の自己解放的な決起があります。私たちはそれをプロレタリア革命と呼ぶのではないでしょうか。もっともっとこの闘いを推し進めて、７・１６代々木公園に結集して、野田政権を打倒し、原発も、空港も、ＴＰＰも、基地もすべてを粉砕していこう。

みなさん、ともに７・16代々木公園で首都を制圧する闘いにともに決起していきましょう！